

新物質／量子構造に基づく発光 デバイス研究の最前線と展望

Advances and future prospects of luminescent devices based
on new material and quantum structure

第78回応用物理学会秋季学術講演会
13.9光物性・発光デバイス分科企画シンポジウム

関連分科：13.7 ナノ構造・量子現象
3.11 フォトニック構造・現象
12.4 有機EL・トランジスタ

開催日時：2017.9.5（月）
13：15～17：30（予定）

21世紀初頭から続いたフラットパネルディスプレイや固体光源のための材料の精力的な研究開発により、現在新たな発光デバイスが消費者に広く浸透しています。

近年、有機・無機・有機無機ハイブリッドの新たな半導体材料が見いだされ、また光ナノ構造との相互作用により発光の制御も進んできています。発光デバイスの現状を有機から無機まで俯瞰して、各材料の光物性とデバイス特性に関する知見を招待講演者の方々に紹介していただき、広く議論をすることで次世代発光デバイス開発の更なる活性化を目指しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

招待講演者とテーマ （敬称略、五十音順）

- * **安達 千波矢（九大）**
TADF分子／有機LD
- * **岩本 敏（東大）**
量子ドット-フォトニック結晶結合系
- * **金光 義彦（京大）**
鉛ハライドペロブスカイト
- * **岸野 克巳（上智大）**
GaNナノコラム発光デバイス
- * **城戸 淳二（山形大）**
OLEDの最前線
- * **野田 進（京大）**
フォトニック結晶レーザー

プログラム順は冊子／Web／アプリ
をご覧ください。